

西岡見聞録

5月の西岡公園見どころは!?

5月の西岡公園では、春を待ちわびていた植物が青々とした葉を伸ばし、次々と花を咲かせます。木道からは真っ白なオオバナノエンレイソウやユキノシタ科のネコノメソウ、散策路ではスミレやチゴユリ、フデリンドウなどが見られます。そして桜が開花する頃には、多くの夏鳥たちも姿を見せ始めます。桜の蜜を好むメジロやイカルの姿も見られるでしょう。日本三鳴鳥で瑠璃色の姿が美しいオオルリや「森のピッコロ奏者」と呼ばれるキビタキなど…鳴き声も素晴らしいですがその色鮮やかな姿にも注目です。管理事務所では双眼鏡の貸出しも行っておりますので、西岡公園にお越しの際には管理事務所にもお立ち寄りください。皆さまのご来園お待ちしております。

【西岡公園で5月に見られる野鳥たち】

(日本野鳥の会 2017.5.7 札幌支部HPより)

- ・オシドリ
- ・アカゲラ
- ・エナガ
- ・マガモ
- ・ヤマゲラ
- ・センダイムシクイ
- ・コガモ
- ・ハシフトガラス
- ・メジロ
- ・カイツブリ
- ・ハシフトガラ
- ・ゴジュウカラ
- ・キジバト
- ・ヤマガラ
- ・コサメビタキ
- ・アオサギ
- ・ヒガラ
- ・オオルリ
- ・トビ
- ・シジュウカラ
- ・スズメ
- ・カワセミ
- ・ヒヨドリ
- ・カワラヒワ
- ・コゲラ
- ・ウグイス
- ・ホオジロ
- ・オオアカゲラ
- ・ヤフサメ
- ・アオジ

【マイヅルソウ】(舞鶴草)

群生して咲くことが多く、
2枚の葉の様子を鶴の舞う姿に
例えてついた名です。
可憐な白い花の1つ1つが
まるで線香花火のように見えます。



【カイツブリ】

鳴き声はかなり大きく
「ケレケレケレ」と聞こえますが
すぐに水の中に潜ってしまいます。



草で「浮き巣」を作ったり、
背中にヒナを乗せて子育てします。

雨などで濡れると
木道が滑りやすくなります。
くれぐれもご注意ください。

【マムシグサ】

道内では「コウライテンナンショウ」と呼ばれ、偽茎の紫褐色のまだら模様が
マムシに似ていることから
この名が付いたと言われます。



5月下旬になると木道では、
橙色の羽をしたニホンカワトンボや
藻岩山で発見されたことから名のついた
モイワサナエが見られます。

【フデリンドウ】

リンドウ科の多年草。
5月下旬に小さな青い花を
咲かせる。



草自体が地面から数cmしか
立っていない上に、花は1cmほど
なので見逃さないように。



【チゴユリ】(稚兒百合)

やや緑がかった白い6弁花が咲きます。
花が下向きに咲くことが多く、
上から見下ろしながら探すと
葉の影で見つけにくくなります。